

技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	☒ 安全・防災 ☐ 維持管理 ☐ 環境 ☐ コスト ☐ ICT ☐ 品質 （該当分類に○を付記）		
技術名称	総合インフラマネジメントー道路空間再構築	担当部署	計画系部門総合政策グループ／九州支社 業務推進室
NETIS登録番号		担当者	末 祐介
社名等	中央復建コンサルタンツ(株)	電話番号	022-267-1459
技術の概要	1. 技術開発の背景及び契機 近年、海外では、道路空間の再構築を契機とした、都市再生と交通体系の最適化、歩行空間の拡張が実現しています。当社と、京都大学大学院景観設計学分野研究室、国土舘大学まちづくり学系都市デザイン研究室は、共同研究会を立ち上げ、プランニング・デザイン・マネジメントに活かす研究に取り組んでいます。本出展では、研究の枠組みや成果が社会に果たす役割などをご紹介します。 2. 技術の内容 社会資本整備審議会道路分科会建議「道路・交通イノベーション」で掲げられた政策課題「ニーズに応じた道路空間の利活用」の推進に資する技術を提案する。 安全かつ利活用しやすい道路空間を実現するために、現場で適用できる計画・実装技術を提案する。 3. 技術の効果 安全で快適な道路空間を実現するための計画技術を提供 自動車、自転車、公共交通、歩行者のために適正な道路空間の再編を検討するための検討プロセスや交通計画技術、合意形成技術を提供 4. 技術の適用範囲 歩行空間の拡充と、交通体系の再編 都市再生 道路空間の再構築 ウォークアブルシティの実現 5. 活用実績 国の機関 0 件（九州 0件 、九州以外 0件 ） 自治体 0 件（九州 0件 、九州以外 0件 ） 民 間 0 件（九州 0件 、九州以外 0件 ）		

6. 写真・図・表

研究の背景・目的

わが国の市街地における道路空間再編の動き

近年、まちなかの道路空間について、都市再生や中心市街地の活性化、観光振興等の一環として、歩行者中心の公共空間へと転用する動きが高まっている。『道路のデザイン - 道路デザイン指針（案）とその解説-』

政策ニーズ

「ニーズに応じた道路空間の利活用」の推進

- ・道路空間の利活用の更なる高度化
 - ・多様なニーズに対応した道路空間の再構築
 - ・民間団体等との連携による価値・魅力の向上
- 社会資本整備審議会道路分科会建議「道路交通イノベーション」

リクワイアメント

国内事例からの知見に基づく国総研資料の作成（H26-30）



欧州・米州における道路空間再編の動き（予備調査済み）

【国内における取り組みとの違い】

- 1) 連鎖的・面的に公共空間を再生する明確な計画意図の下に取り組んでいる
- 2) シナリオプランニングや社会実験等を用いた丁寧かつ円滑な合意形成を図っている
- 3) 制度的支援に基づく多様な空間デザイン、柔軟な運営管理を実現している

アイデア・ノウハウ

制度・基準類

【本研究課題】

欧州・米州の取り組みにおけるプランニング・デザイン・マネジメントの技術的事項を整理し、社会実験も踏まえてこれをわが国に活用できる体系的な計画・実装技術へと昇華させるとともに、道路空間再編を推進する制度的支援に資する知見を提示する

技術的ニーズ

制度的ニーズ

面的な空間再編の計画技術や利害の異なる関係者間の合意形成の手法、シェアスペース・パークレット等の新たなデザイン・マネジメント上の工夫については試行錯誤の段階にあり、技術開発や制度的支援が望まれる。

研究の目標と達成時期

年度毎の達成内容

■H31年度：施策展開のプロセス分析

現地調査を実施し、事業内容と施策展開のプロセスを明らかにする。各段階の検討事項や工程を時系列のチャート形式で整理するとともに、事業スキームをダイアグラムで整理し、**施策展開のシナリオを類型化**する。

■H32年度：技術的特徴の把握・分析

現地調査を実施し、各事例の計画・設計条件に関する情報、及び関連する制度・基準類を収集する。ヒアリングによりプランニング・デザイン・マネジメントの各項目に係る**技術的事項の特徴を分析**する。

■H33年度：計画・実装技術の体系化

施策展開のシナリオに応じたプランニング・デザイン・マネジメント**技術の選定フローを構築**するとともに、社会実験とシミュレーションにより**各技術の汎用性・実用性を検証**し、施策展開の技術モデルを構築する。また、国際研究機関等と協働で**国内外の制度・基準類を比較分析**し、効果的な施策展開を支える制度的枠組みを提案する。

研究（成果活用）の継続性、国際展開

- ・ 地方自治体における道路空間再編の現場に研究成果を活用すると同時に、**現場での運用を通じて得られた知見をモデルの修正へとフィードバックさせる実践型研究を展開**。
- ・ ITDP（交通開発政策研究所）や世界資源研究所EMBARQ等の国際研究機関、及びNACTO（米都市交通担当官協議会）等の現地研究機関との連携により技術モデルを海外展開。

